地業
地下水位測定法

ちかちゃん

スクリューウエイト貫入試験孔を用いた迅速かつ高精度な地下水位測定法

スクリューウエイト貫入試験（SWS試験）直後の孔を利用した地下水位測定法。先端にスクリューポイントを装着した有孔管を挿入し、交流式比抵抗水位計を用いて、迅速かつ高精度に地下水位を測定する。

■認定

・建築技術性能証明（GBRC 性能証明 第10-22号）

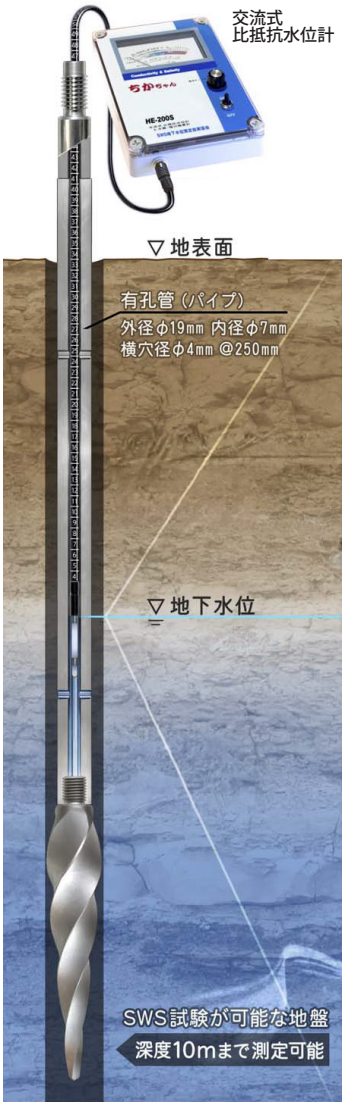
【特長】

①砂やシルト、粘性土地盤の調査において、深度10mまで孔内水位を測定できる。
②泥水の影響を受けない無水堀のため、測定水位の信頼性が高い。
③SWS試験用ロッド（φ19㎜）と同径の有孔管を使用するため、JIS規格で定められた試験装置を用いて地盤への貫入が可能である。
④測定には１㎝目盛りのメジャーケーブルを採用し、高精度の測定ができる。
⑤直流式水位計では水の電気分解が発生し、安定した水位測定が困難であるが、交流式比抵抗水位計を採用することで、安定した水位測定が実現する。
⑥指針式アナログメーターにより、水位を見誤ることなく、正確な水位や水質の目安、塩分濃度の測定が可能である。

■液状化判定における地下水位の役割

液状化の危険性が低い非液状化層は、地下水位よりも浅い砂層や粘性土層に位置するため、地下水位を測定することで、厚さの確認が可能となる。非液状化層厚が5m以上であれば「液状化の顕著な被害の可能性が低い」と判定することができる。

建築技術性能証明書



イメージ図

問い合わせ先
一般社団法人SWS地下水位測定技術協会　TEL06-6335-0707　https://asgl.or.jp/